

平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27217 「見ている」ものから見えること～みんなで探ろう！<視線>のふしぎ～



開催日：平成27年8月8日(土)

実施機関：立命館大学

(実施場所) (衣笠キャンパス以学館2階27号教室)

実施代表者：岡本 尚子

(所属・職名) (産業社会学部・准教授)

受講生：小学校5・6年生5名, 中学校1年生1名

関連URL:

【実施内容】

写真を見るとき、ゲームをするときの視線計測を行い、記録したデータを見ながら、どのように考えていたのか、無意識に見ていたものは何かを分析・考察してもらう。また、他者の結果がどのようなであったのかを聞き、自身の結果との違いを見つけてもらう。こうした活動をとおして、生理学的なデータを記録することの面白さや有用性、個々人が持つ興味や思考方法の違いの科学的な分析の楽しさを理解してもらう。

【留意・工夫した点】

- ・一人ずつ視線計測実験を体験し、自分自身のデータを分析・考察できるプログラムとした。
- ・視線計測実験では、小・中学生が楽しめるような写真や絵を用いて、実験課題とした。
- ・データ分析用にワークシートを作成し、小中学生が考えやすいようにポイントを示した。
- ・小学校教員を志望している学生が実施協力者となり、子どもとの円滑なコミュニケーションがとれる環境を整えた。
- ・色を塗ったり、長さを測ったりして錯視を体験して楽しめる教材を作成・用意し、視線計測実験の前後に取り組んでもらった。

【当日のスケジュール】

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 9:40～10:00 | 受付(衣笠キャンパス以学館2階集合) |
| 10:00～10:10 | 開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明) |
| 10:10～12:40 | 実験①「視線計測を体験しよう」 |
| 12:40～13:40 | 昼食・休憩 |
| 13:40～14:00 | 講義「視覚情報で分かることって何だろう(講師:岡本尚子)」 |
| 14:00～14:30 | 実験②「データを分析して、分かることをまとめよう」 |
| 14:30～15:00 | ディスカッション「データを分析して発表しよう」 |
| 15:00～15:20 | 修了式(アンケート記入, 未来博士号授与) |
| 15:20 | 終了・解散 |

【実施の様子】



👉 プログラムの案内(正門前)



👉 開講式(視線計測実験について)



👉 視線計測実験(間違い探しゲーム)



👉 親子でデータ分析・考察



👉 親子で錯視体験



👉 講義「視覚情報で分かることって何だろう」



👉 データ分析・考察の発表



👉 未来博士号授与

【事務局との協力体制】

チラシ送付準備, 当日に必要となる案内板や看板などの手配などで事務局に協力を得た。経理の管理についても事務局に担ってもらった。

【広報活動】

京都府下の公立小学校 382 校, 近隣の国立・私立小学校 5 校にチラシと案内状を送付した。大学近隣の公立小学校と本学附属校には, 直接説明を行い, プログラムの案内を行った。

【安全配慮】

実施協力者を, 主に小学校教員志望の 4 回生・大学院生とすることで, 子どもたちの活動を円滑に補助できるようにした。また, 実施協力者には, 事前に詳細なスケジュール表を作成して周知を行うとともに, 各自の役割分担を明確にした。参加予定者 2 名につき, 1 名以上の大学生を配置できる設定とした。

【今後の発展性, 課題】

当日に 3 名の欠席者があったものの, 参加者アンケートの結果からは, 全員が一人ずつ視線計測の体験をし, その結果を持ち帰れることが, 特に好評であることがうかがえた。今後は, 実験を体験することを継続しながら, より日常に近い場面設定での視線計測を行うことで, 生活に潜む科学を実感し, 興味関心を高められる工夫を行っていきたい。

【実施分担者】 なし

【実施協力者】 7 名

【事務担当者】 吉澤 真 研究部衣笠リサーチオフィス課員